

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立おなづか小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・一昨年度以上に社会科見学や水道キャラバン、スーパーマーケット見学・工場見学などの体験学習を行ったことで、児童が興味や関心をもって学習できるようになった。
- ・昨年度課題であった、中学年では地図記号を答える問題や買い物調べや店ではたらく人、高学年では地図やグラフ、写真、文章などの複数の資料を組み合わせて回答を導き出したり、考えを表現したりする問題は、どの学年も正答率を上げた。授業で地図やグラフ、写真、文章などの複数の資料を繰り返し使った成果と考えられる。

(2) 課題

- ・基礎的な内容に関する問題は、どの学年も若干目標値に達していない。正答率が目標値に達していない設問は、中学年では「安全なくらし～火事」や「くらしの移り変わり」、高学年では「都道府県の様子」や「日本の水産業」である。基本的な知識や用語の定着率を上げるために、単に覚えさせるのではなく、用語の意味や適切な使用場面についても指導する必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	全体的に目標値を下回っているが、活用はおおむね良好である。「安全なくらし～火事」と「工場の仕事」に課題がある。	全体的に目標値を下回っている。「買い物調べ」と「店ではたらく人」に課題がある。	
第5学年	全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好である。「ごみのしよりと利用」や「特色ある地域の様子」の正解率が高い。「都道府県の様子」に課題がある。	全体的に目標値を下回っている。「自然災害からくらしを守る」内容については、正答率が高い。「くらしをささえる水」と「特色ある地域の様子」に課題がある。	全体的に目標と同程度である。観点別正答率では、主体的に学習に取り組む態度が目標値を上回り、その他については目標値と同程度である。
第6学年	全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好である。「日本の農業」や「自動車をつくる工業」の正解率が高い。「日本の水産業」と「世界の中の国土」に課題がある。	全体的に目標値とほぼ同程度である。「工業生産と貿易」と「世界の中の国土」は、少し課題があるが、「日本の国土と人々のくらし」は正答率が高い。	全体的に基礎、活用ともに目標率を下回っている。観点別正答率では知識・技能が目標値と同程度であり、その他については目標値を下回っている。

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「安全なくらし～火事」に関する問題は目標値を下回っている。火事が起きたときの体制の理解に課題がある。	校内平均正答率は目標値とほぼ同程度である。資料の細かい部分を読み取り、回答を導き出す問題につまずきがある。	校内平均正答率は、目標値と同程度であるが、記述式の問題で無回答が見られる。

## ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
校内平均正答率は目標値と同程度である問題が多い。「都道府県の様子」や「水産業の仕事」は、知識が確実に身に付いていないということから、選択肢の中から正しいものを選ぶ問題でつまづく児童が多い。	校内平均正答率は目標値と同程度であるが、複数の資料を組み合わせる回答を導き出すタイプの問題につまづく児童が多い。	校内平均正答率は目標値と同程度であるが、記述式の問題で無回答が見られる。

## 3 授業改善のポイント（観点別）

### (1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学年から地図帳を活用し、地図記号や等高線、方位の指導を徹底する。また写真資料の読み取りや資料の細かい部分の読み取りを重点的に指導する。</li> <li>・ 問題の形式として、複数の選択肢の中から、正しいものを選ぶ問題につまづくがあるので、学習した知識を活用し、問題解決をする機会を学習の中に取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グラフや表を読み取る学習は今後も継続して学習活動に取り入れる。</li> <li>・ 学習終わりや単元終わりにキーワードを提示したり例文を一緒に考えたりしながら、最終的には学習感想やまとめを自力で書けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度に引き続き、社会科見学、工場・スーパーマーケット見学等体験学習を行い、関心意欲を高める。</li> <li>・ ICTを活用して映像や写真資料を効果的に活用し、関心意欲を高める。</li> <li>・ より一層実感を伴って理解させるために、ふだんの生活と学習のつながりを意識させる活動を取り入れる。</li> <li>・ 表現する活動を繰り返し経験させることで無回答の減少を目指す。</li> </ul>

### (2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な用語のうち、生活の中であまり使わない馴染みの薄い用語の定着に課題がある。学習のまとめにおいて学習した用語を使った文章を書く活動を取り入れ、活用させることで、定着を目指す。</li> <li>・ ICT機器等を活用し、都道府県の位置の定着を図ったり、家庭学習で繰り返しの習熟を図ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グラフや表、写真、年表等複数の資料を比べ、共通点や相違点を考えたり、正しい選択肢を選んだりする学習を継続して取り入れる。</li> <li>・ 学習終わりや単元の終わりに、学習して分かったことを文章で表したり、説明したりする活動を取り入れる。その際、学習した社会科の用語を使用させることで、学習で得た知識を活用する力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICTを活用し、映像や写真資料を効果的に使うようにする。</li> <li>・ 表現する活動を繰り返し経験させることで無回答の減少を目指す。</li> <li>・ タブレットを活用して意見を共有したり、学習感想にコメントを付け合ったりする活動を取り入れ、多様な意見に触れることの面白さを実感させ、主体的に学習に取り組む態度を育成する。</li> </ul>